

目 次

I 組織機構と決算

1 沿革	1
2 建物概要	1
3 組織・業務	5
4 職員配置	6
5 平成 18 年度歳入歳出決算	7

II 業務概況

調査研究事業

平成 18 年度調査研究の概要	8
-----------------	---

試験検査事業

1 微生物学的検査	10
1) ウイルス学的検査	10
2) 細菌学的検査	15
2 理化学的検査	17
1) 食品薬品検査	17
2) 生活科学検査	20
3 試験検査グループ・各支所	21

技術研修事業及び情報関係業務

1 職員研修	24
1) 学会・研究会・会議等への出席状況	24
2) 所外職員研修	25
2 精度管理事業	27
3 感染症発生動向調査事業	29
4 食品検査施設の業務管理（食品 GLP）	31

III 論文

1 麻疹ウイルス分離株の分子疫学および抗体保有調査に関する研究 － 2004 年度～ 2006 年度における地域別抗体保有状況－ 三川正秀，菱沼郁美，金成篤子，廣瀬昌子，大竹俊秀	32
2 福島県内の結核菌の分子疫学的調査研究 －結核菌の RFLP 法による分子疫学的解析－ 須釜久美子，小澤奈美，熊谷奈々子，平澤恭子，大竹俊秀	39
3 2006 年度サルモネラ菌の分離状況と薬剤感受性試験について 小澤奈美，渡邊奈々子，平澤恭子，須釜久美子，大竹俊秀	42
4 LC/MS による痩身用健康食品中未承認医薬品等の一斉分析法について 赤城理恵，味戸一宏，金成 徹，川田好徳，鈴木昭彦，竹村悦子，斎藤和男	46
5 GC/MS による残留農薬一斉分析法における農産物別の解析項目の検討 鈴木昭彦，川田好徳，金成 徹，味戸一宏，赤城理恵，竹村悦子，斎藤和男	50
6 食品中の合成タール色素の HPLC による一斉分析法の検討 神尾典子，柳沼 幸，國井 敏，吉田加寿子，伊藤岩夫	55

IV 資料		
1	2006年感染症発生動向調査事業報告（ウイルス） 金成篤子，菱沼郁美，廣瀬昌子，水澤丈子，三川正秀，大竹俊秀	61
2	2006年感染症発生動向調査事業報告（細菌） 平澤恭子，渡邊奈々子，小澤奈美，須釜久美子，大竹俊秀	69
3	2006/2007シーズンの県内におけるインフルエンザの流行について 廣瀬昌子，菱沼郁美，金成篤子，三川正秀，大竹俊秀	77
4	浴槽水からのレジオネラ属菌検出状況 － 2001年5月～2006年11月まで－ 熊田裕子，河野裕子，菌田数夫，斎藤和男	85
5	固相抽出を用いた海水中フェニトロチオン分析法の検討 河野裕子，熊田裕子，菌田数夫，斎藤和男	90
6	HIV-1・HIV-2の鑑別手法について（短報） 廣瀬昌子，菱沼郁美，金成篤子，三川正秀，大竹俊秀	96
V 学会発表及び専門誌への論文投稿		99